

事前学習レポート

小野 あずさ

人

マレーシアは、マレー系（約 65%）、華人系（約 24%）、インド系（約 8%）の三つの主要民族と地域の歴史が複雑に入り混じって並存しており、民族構成が複雑な国である。

言語

言語も同様にマレー系はマレー語、華人は北京語、インド系はタミル語を母語とする人が多い。一方で、英語を母語とするマレー人、華人、インド系も多く、また中国地方語の種類も多く、世界でも有数のマルチリンガルが多い国となっている。

宗教

国教、イスラム教であり、マレー系を中心に広く信仰されている。中国系は仏教、インド系はヒンドゥー教徒が多い。

食

マレー系はイスラム教の人が多く、豚肉や酒を口にしないが、華人や外国人などはそれらを食べている。そのため、中東のようにほとんどの人がムスリムの地域の国とは違い、多様な食文化がまじりあっているため、ハラール制度が一番普及している国となっている。

経済

マレーシアの 2013 年の GDP は 3,124 億ドルであり、一人当たりの GDP は 10,548 ドルであり、東南アジアの中では高い。イギリス植民地時代からのゴムのプランテーションや錫の採掘、天然ガスの掘削など、特定の農作物や鉱物の生産が盛んであるが、それらに依存した体質からの脱却を掲げている。しかし、民族間の経済格差が生まれてしまっている。

歴史

1396 年 マラッカ王国成立後、1511 年にポルトガルの植民地となってから、オランダ、英国の植民地と日本軍の占領を経験し、1965 年 現在のマレーシアが形成された。多くの東南アジア諸国が欧米の植民地支配の影響のため発展が遅れ、社会主義での失敗や工業化が進まない中で、マレーシアは約 170 年に及ぶ植民地支配にもかかわらず日本を手本に工業化と経済成長に成功している。